

男衾小学校に花壇とビオトープを設置！

ローソン緑の募金を活用

男衾小学校の敷地内に、新たに花壇とビオトープが設置されました。これは、コンビニエンスストアのローソン各店舗に寄せられた「ローソン緑の募金」を原資に、公益社団法人国土緑化推進機構が実施している学校環境緑化モデル事業により実現したものです。5月11日に完成式典が開催され、埼玉県緑化推進委員会、株式会社ローソン埼玉・千葉営業部、町教育委員会、男衾小6年生が参加し、ハナミズキの記念植樹や記念写真の撮影を行いました。



千葉達夫さんが受賞されました！

埼玉県ソフトボール協会表彰功労賞

町ソフトボール協会副理事長の千葉達夫さん（赤浜）が、埼玉県ソフトボール協会功労賞を受賞しました。千葉さんは、地域のソフトボールクラブで活躍され、昭和62年に審判資格を取得し、町ソフトボール協会審判部長を務められています。30年以上にわたり町や埼玉県のソフトボールの発展に貢献したことが認められ、今回の受賞となりました。千葉さんは「今後もソフトボールを通じ、地域コミュニティの推進や健康増進のため、活動していきたいです」と話してくれました。



株式会社日本陸送から寄附

交通事故防止のための横断旗

4月14日、株式会社日本陸送（重盛真治代表取締役社長）から、地域の交通事故防止のため、交通安全の横断旗を寄附していただきました。横断旗は、保護者の皆さんが通学路等で使用できるように町内各小学校に配布しました。児童・生徒が安全に登下校できるように活用していきます。



空き家活用株式会社と協定締結！

空き家活用モデル事業に関する連携協定

町は4月21日に、空き家活用株式会社（和田貴充代表取締役社長）と「空き家活用モデル事業に関する連携協定」を締結しました。この協定締結により、民間事業者のノウハウの導入や、IT・専門知識を活用した実態調査、住宅市場への情報提供、町民の方々向けの相談窓口設置等、空き家活用モデル事業の創出に向けて、互いに協力し、取り組んでいきます。



高齢者の横断中の事故が多発しています

防ごう！ 高齢者の交通死亡事故

県内では、今年に入ってから交通死亡事故が多発しています。特に、65歳以上の高齢者の関係する交通死亡事故が多く、その中でも道路を横断中(例:信号機のない交差点を横断中など)に交通事故にあうケースが多く発生しています。



高齢者を交通事故から守るためのお願い

▶ドライバーの方へ

- ①右左折時、横断歩道上の安全確認をしましょう
- ②横断歩道以外からの横断歩行者を警戒しましょう
横断歩道を利用せず、斜め横断をする高齢者が少なくありません。また、年齢とともに視野の狭まりや歩行の速度が遅くなり、車両との距離の判断を誤って横断する傾向があります。運転中は、常に前方の安全確認をお願いします。
- ③交差点から飛び出してくる自転車を予測しましょう
高齢者は、前かがみの運転姿勢で視野が狭くなり、安全確認を怠りがちです。運転中は、不意な出来事にも対応できるよう、前方の安全確認の徹底をお願いします。

▶歩行者の方へ

車のドライバーが、横断者の姿に気が付いていないこともあります。また、不意な車の飛び出しもありますので、道路を横断するときは、一時停止をし「大きく首を振って、左右の安全を確認する」、「サイン(合図)でドライバーに横断する意思を伝える」を心掛けてください。



道路横断時の安全行動イメージキャラクター「サイン(SIGN)ちゃん」



春の全国交通安全運動出発式が実施されました！

埼玉ウインズのメンバーがエールを送りました

4月5日に寄居警察署前で、春の全国交通安全運動(4月6日～15日)に伴う出発式が行われました。出発式には、全国大会出場経験がある寄居町のソフトボール強豪チーム「埼玉ウインズ」のメンバーが出席し、ピッチングのデモンストレーションを行うとともに、交通安全のために日々尽力されている方々へエールを送り、交通事故防止を呼び掛けました。

☎ 寄居警察署交通課(☎ 581-0110)